

# 令和5年度事業計画

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

## はじめに

令和5年度沖縄振興予算案は総額2,679億円と前年度当初比で約5億円の減少となっており、公共関係事業費においては1,219億円と前年度当初比から6,000千万円の微増となったものの、厳しい状況が予想されている。

その中で、建設業界においては、2024年4月から適用される、「時間外労働の上限規制」まで1年弱となり、対応が急務となっている。

しかし、技術者の高齢化と担い手の確保が厳しい状況の中で、同規制の遵守は極めて厳しい状況であり、同規制への対応には、「工事資料の省力化・DXの促進」「現場協議の効率化」による生産性向上と「適正工期の設定」「工事発注の平準化」、「資材高騰に伴う適正な積算」等、発注者において、建設事業者の労働時間上限遵守に向けた施策が不可欠であり、適正利潤の確保について、早急な改善が必要となることから、発注者との意見交換会を実施すると共に、担い手確保を目的とした、「フォトコンテスト」や「献血キャンペーン」等の事業を更に推進し業界に対するイメージアップを図っていく。

又、令和5・6年度は九州建設青年会議の担当県として、九州青年会議の運営も行う必要があることから、これまで以上に会員の連携が必要となる。

そこで「事業委員会」「研修委員会」「広報委員会」の3委員会で事業活動を実施して、会員全体が事業内容を把握出来るような組織体制を作り会員がメリットを実感できるよう取り組むと同時に加入促進に努めていく必要がある。

このため、本部会の会員相互の「融和」と「結束」、「行動力」を持って、役員会、専門委員会を中心に、令和5年度は、以下の事業に積極的に取り組んでいくこととする。

## 事業計画

1. 協会の諸施策に対して積極的に協力対応する
2. 組織の拡充強化と会員の加入促進を積極的に推進する（令和4年度目標10名）
3. 関係発注機関や関係団体との意見交換会の実施する
4. 人材確保・育成に関する事業を実施する
5. 九州建設青年会議・県外視察研修会に関連する事業を実施する
6. 建設業の経営及び技術の研鑽のための講習会・講演会を開催する
7. 会員の資質の向上と相互に親睦を深めるための行事（懇親会等）を開催する
8. 業界のイメージアップ【フォトコンテスト】【献血キャンペーン】事業を実施する

上記事業の実施については、各委員会で分担して内容等を検討し、各委員会を随時開催し、役員会の承認を得て事業を実施する。